

SS-1005A・B / SS-5000FP 取扱説明書

この度は、ボンコート製はんだこてSS-1005A・B / SS-5000FPをお求め頂き誠にありがとうございます。
この説明書をお読みになり、正しくご使用下さるようお願い致します。



安全上の注意

- 濡れた手で触らないで下さい。感電事故(死亡事故)の危険性が有ります。
- こて先は高温になっている為、火災・火傷に注意してください。
- 製品の分解や改造を行わないで下さい。火災・故障・感電等の原因になります。
- 製品のメンテナンス(こて先・ヒーター・ヒーターカラー等)を行こなう際は必ず電源プラグをコンセントから抜き、こて先が冷めた事を確認してから行って下さい。
- 交換部品(こて先・ヒーター・ヒーターカラー等)は、必ず純正部品をご使用下さい。
- 純正部品以外の部品を使用すると製品故障の原因になります。
- 本製品を作業目的以外で使用しないで下さい。

■2線式(2PNN・2EPVコード)の仕様

型番	消費電力	入力電圧	制御方式	標準こて先	制御温度	絶縁抵抗	全長	重量
SS-1005A-2PNN	40W	100V	セルホルトスイッチング ON/OFF制御	SG7-2C	100~490℃	20MΩ以上	約250mm	73g
SS-1005B-2PNN				SG10-8BC				85g
SS-5000FP-2PNN	SGP10-8BC	73g						
SS-1005A-2EPV	40W	220V		SG7-2C				85g
SS-1005B-2EPV				SG10-8BC				73g
SS-5000FP-2EPV	65W	SGP10-8BC		85g				

■3線式(3PCHI・3EPVコード)の仕様

型番	消費電力	入力電圧	制御方式	標準こて先	制御温度	リーク電圧	アースライン抵抗	全長	重量
SS-1005A-3PCHI	40W	100V	セルホルトスイッチング ON/OFF制御	SG7-2C	100~490℃	20MΩ以上	20MΩ以上	約250mm	73g
SS-1005B-3PCHI				SG10-8BC					87g
SS-5000FP-3PCHI	SGP10-8BC	73g							
SS-1005A-3EPV	40W	220V		SG7-2C					87g
SS-1005B-3EPV				SG10-8BC					73g
SS-5000FP-3EPV	65W	SGP10-8BC		87g					

※最高温度は、室温、湿度、こて先の形状の違い、及びヒーターの抵抗値のバラつきにより若干の差があります。※110V使用は別途ご相談ください。

構造



■交換部品

型番	消費電力	交換ヒーター	標準こて先	ヒーターカバー	カバーナット	ヒーターカラー	放熱ナット	アーススプリング
SS-1005A-2PNN	40W	CES-100-40	SG7-2C	HCL-7	CN-7	SUC-10	NA-11F	-
SS-1005A-3PCHI								ECS-5
SS-1005A-2EPV		CES-220-40	SG10-8BC	HC-10	CN-10			-
SS-1005A-3EPV								ECS-5
SS-1005B-2PNN		CES-100-40	SG10-8BC	HC-10	CN-10			-
SS-1005B-3PCHI								ECS-5
SS-1005B-2EPV	CES-220-40	SGP10-8BC	HC-10	CN-10	-			
SS-1005B-3EPV					ECS-5			
SS-5000FP-2PNN	65W	CES-100-65	SGP10-8BC	HC-10	CN-10	SUCP-10	NA-20F	-
SS-5000FP-3PCHI								ECS-5
SS-5000FP-2EPV		CES-220-65	SGP10-8BC	HC-10	CN-10			-
SS-5000FP-3EPV								ECS-5

※110V使用は別途ご相談ください。

使用方法

- こて先の温度調整は、温度調節つまみによって行い、100 ~ 490 の範囲で温度設定ができます。(図1)
- つまみの回転角度はMIN ~ MAX 200 になっており、それ以上回すとボリュームが破損しますので回転角度以上には絶対回さないで下さい。(図2)
- こて先の温度調整をする際は、必ずこて先(先端部)をクリーニングし、はんだをのせてからこて先温度計(MCA-900 又はMCA-700)のセンサー部(SC-006)に密着させて、こて先温度の設定を行って下さい。
- グリップ内のネオンランプ点滅はこて先温度の制御状態を示しています。こて先が設定温度に達しますとランプが消えます。また放熱により温度が下がるとランプが点滅します。
- 作業終了後は必ず電源コードをコンセントから抜いて下さい。

図1

こて先温度調節目安

型番	青	黄	赤
SS-1005A			
SS-1005B	100~200℃	200~360℃	360~490℃
SS-5000FP			

図2



SS - 1005A・B / SS - 5000FPこて先及びヒーター交換手順方法

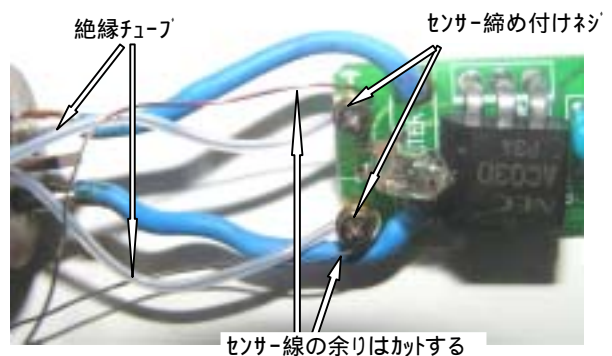
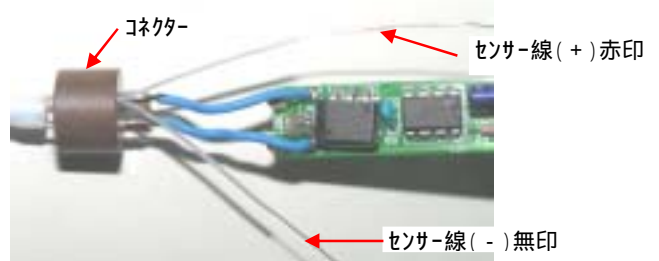
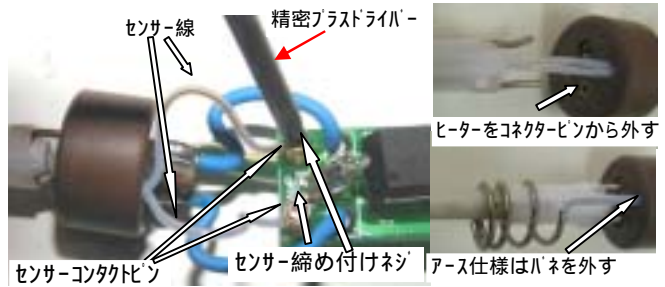
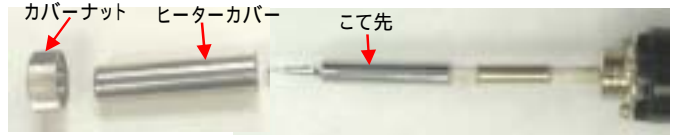
はじめに電源コードをコンセントから抜き、こて先が冷えている事を確認してから始めて下さい。

■こて先交換

- 1、カバーナット、ヒーターカバー、こて先の順に分解し、逆の順に組込みます。(図)

■ヒーター交換

- 1、放熱ナット側面のM3モグラネジを外します。(図)
- 2、カバーナット、ヒーターカバー、こて先ヒーターカラー、放熱ナット組の順に外します。(図)
- 3、温度調節ツマミを引き抜きます。(図)
ニッパーの刃等でツマミ側面をはさみ、浮かすように持ち上げます。
- 4、グリップ後部のセットボルトを外し、コードブッシュをプラグ側に移動後(約15cm)温度制御基板を電源コード側から押し出します。(図)
マイナスドライバー等で基板を傷つけないように押します。
- 5、センサー線締め付けネジを緩め、センサーコンタクトピンからヒーターのセンサー線を抜き、ヒーターをコネクターピンから外します。(図)
アース仕様をお使いの場合はアースバネを外してから作業して下さい。
- 6、新しいヒーターのセンサー線をコネクターに通した後、ヒーターリードをコネクターピンに差し込みます。(図)
- 7、センサー線末端部の赤い方をセンサーコンタクトピン(+)側に差し込みます。センサー線末端部の色の付いて無い方をセンサーコンタクトピンの(-)側に差し込みます。
さらにセンサー線が絶縁チューブで完全に覆われるようにし、センサー締め付けネジを緩みが無い様に締めます。(図)
センサー線をセンサーコンタクトピンに通して余った線はピンの外側に曲げ余った部分を切断します。
- 8、温度制御基板をグリップ両側の溝に沿わせながらグリップに戻します。
温度調整ボリュームの取付け位置をグリップと合わせます。
- 9、分解時と逆の手順で組込みます。(図 ~)



当社製、計測器・こて台も合わせてご利用下さい。

計測器 MCA-900

こて台 BON-11

